



会 報

55 号

デザイン 池田満寿夫

ながの

発行人 峯村清志

編集長 井澤一幸

9 月末現在賛助会員数 長野地区 505 人 県全体 2,531 人

2019 信州ねんりんピック 飯山会場で開催

「信州ねんりんピック」が、長野県北部の飯山会場で 9 月 20 日～22 日の 3 日間開催されました。飯山市文化交流館「なちゅら」と飯山市公民館の二会場で行われ、21 日の式典での表彰式で、個人の部で荒井公様が、グループの部では竜虎エンジョイと被災地オテガミプロジェクト推進チームが表彰されました。なちゅらのオープニングは、地元飯山の五束太々神楽「翁舞い」が披露され、会場を沸かせてくれました。式典の後、ステージ発表へと移り一日が始まりました。

公民館では囲碁・将棋大会が行われ、「高齢者作品展」では、長野地区賛助会の方々の作品も多数受賞されました。



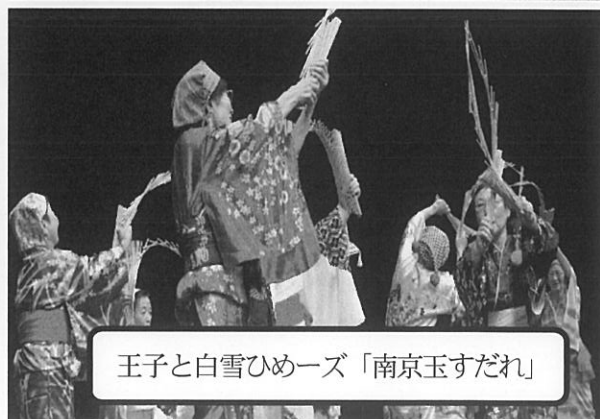
五束太々神楽の舞



主会場 なちゅら



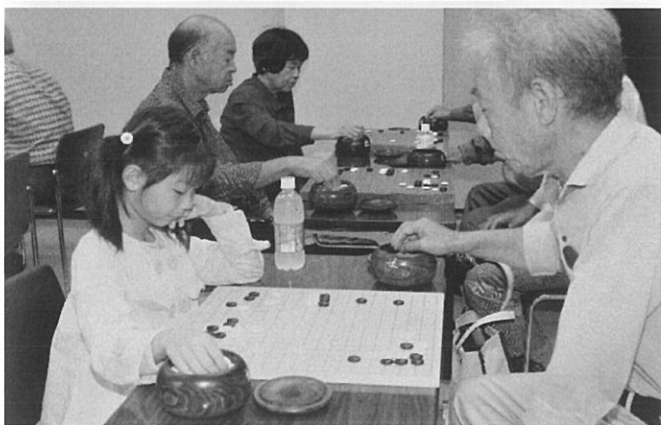
トークセッションでのパネリスト



王子と白雪ひめズ「南京玉すだれ」



飯山市長賞を受賞した 増田 美智子様



長野地区賛助会員の集い開催

一年間の学習成果を発表し賛助会を盛り上げよう

- ※ 期 日 10月18日(金)
- ※ 場 所 長野県社会福祉総合センター
- ※ 時 間 午前8時45分～午後4時00分

シニア大学生一・二年生に賛助会を理解していただく絶好のチャンスです。「人生二毛作」をおおいにPRし健康長寿で生き生き人生を。

「おじいちゃん・おばあちゃん と遊ぼう」

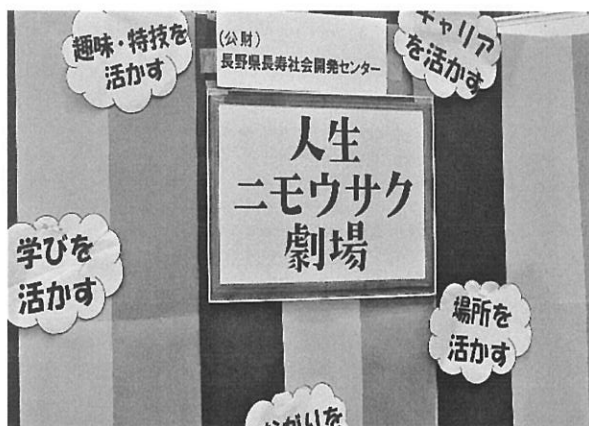
夏休みこども体験教室

8月2日(金) 県庁講堂で

毎年恒例の子ども達の夏休みを利用した「長野県について学ぼう」五感で感じ学ぶ信州」と題し、県庁講堂を主会場に多くのイベントが開催され、長野地区賛助会も出展、午前・午後の部計6グループが参加した。絵手紙コラボチーム(絵手紙にチャレンジ)・北信賛助会より(昔あそび)・シニア38書道(筆で元号「令和」を書こう)・IT・Sの会(パソコンでお絵描き)・芽吹きの縁側クラブ(昔あそび)が参加。大勢の親子連れが、各グループに挑戦。孫を見る思いで優しく、おじいちゃん・おば



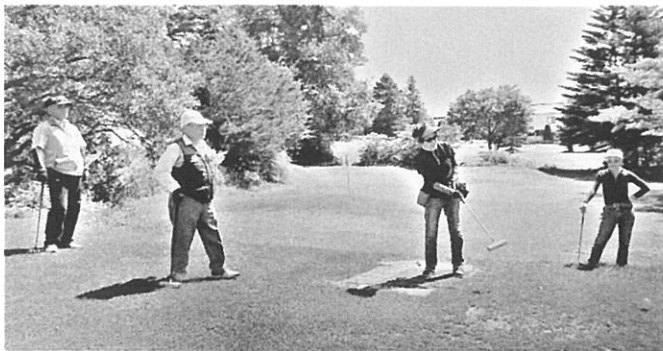
あちゃん先生の説明をよく聞き、可愛い手を真剣に動かしていました。完成した作品を喜ぶ姿に講師先生方も思わずニッコリ。お疲れさまでした。「ハイ次の方どうぞ」。



グループ活動紹介

高齢者の健康維持最適な生涯スポーツ

「しらかば会」(マレットゴルフ) 金箱 博



私たちのクラブは、平成12年シニア大学OB会員10人足らずで「しらかば会」を立ち上げ17年目を迎え、現在は85名の大所帯となりました。目的は・健康が第一、融和と協調・親睦を図り心身が潤いある活動をしています。

自然豊かな信州で小鳥のさえずりや森林浴を楽しむながら、ゴルフを気軽に楽しんでいます。

毎週木曜日午前9時から練習をし、月の最後の日には月例会で成果発表をして喜びを分かち合っています。仲間同士で笑いが絶えず、時には悩みを相談することもあり、お互いの心の拠りどころ、まさに「しらかば会の縁側」となっています。

発足15周年祭典「平成27年の写真入りカレンダー」を作り、広いマレット場の一角で、楽しく「幸せなら手を叩こう」を歌い、お茶で一時を過ごしました。更に20周年記念へ向けて活性化し、リア

ルな会にしたいと思っています。

毎年秋には、「介護老人施設コスモス長野」を訪問して、利用者様と一緒に、マレットゴルフをしながら、交流を深め喜ばれています。

これからも、生き甲斐と親睦を深めて「人生二毛作」へと頑張っていきたいと思っています。

裾花小学校プラッこ1年 『ちいきのかたから まなぶひ』に参加して

ちぎり絵あじさいの会
石井 淳子

講座が始まるまで一年生にどう指導したらよいかな不安でしたが、始まってしまうと孫と遊んでいるようでした。一人ひとりの個性があり、説明を聞くと自分でどんな先に進める子もいれば、自分のペースでやりきる子もあり、こちらが慌てたり・・・と、とても楽しくて、新鮮な時間が持ててよかったです。また次の機会があればと思っています。

